

第 239 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2011 年 5 月 20 日 (金) 13 : 00 ~ 18 : 00

会 場 オルガノ株式会社 (<http://www.organo.co.jp/company/pdf/honsya.pdf>)

〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8, 電話 03-5635-5191

アクセス : 東京メトロ東西線『東陽町駅』下車 (3 番出口)

徒歩 約 7 分 江東運転免許試験場斜め前

開催趣旨 産業が健全な発展を遂げるには、社会がその存在を必要とし、なおかつその産業構造の全てに信頼を寄せることが不可欠である。従って、受託分析産業は製薬産業、食品産業、鉱工業など、国民の暮らしを支える基幹産業が生み出す多くの製品群のクオリティを国民に担保する重要な位置付けにあると言える。そこで、今回は我が国における代表的な受託分析機関にお集まり戴き、実際の業務に LC がどのように関わっているかの実態に加え、差し支えない範囲で分析のノウハウをお聴きすることにした。

講演主題 「受託分析産業における LC 分析～実態とノウハウ～」

講 演

1. 講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:10) (東京理科大学薬学部) 中村 洋
2. 日本における受託分析の現状について (株東レリサーチセンター) (13:10~14:10)
(株東レリサーチセンター) 片桐 元
3. 我が国の基幹産業を支える研究・開発を支援する受託分析 ~LC/MS 分析の役割~
(14:10~15:00) (日本電子株) 松浦健二
休憩 (15:00~15:15)
4. 当社の LC 分析関連業務のご紹介 (15:15~16:00)
(株住化分析センター) 西岡亮太
5. 食品中の残留農薬等分析 (16:00~16:30) (一般財団法人化学物質評価研究機構) 和田丈晴
6. 生体試料中医薬品の HPLC、LC/MS 分析～現状と課題 (16:30~17:20)
(株東レリサーチセンター) 竹澤正明
7. 総括「受託分析と LC」 (17:20~17:50) (東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC 研究懇談会会員 : 1,000 円、協賛学会会員 (日本分析化学会含む) : 3,000 円、
その他 : 4,000 円、学生 : 500 円 (参加費は当日申し受けます。)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで開催します。(会費 3,000 円)

希望者は必ず前もってお申込みください (参加費は、当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上 FAX または、同内容を E メールにより、
申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください。
(定員締切後の申込につきましては、後日連絡いたします。)

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304 号

社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話 : 03-3490-3351, FAX : 03-3490-3572, E-Mail : hm_tanaka@jsac.or.jp]